

論拠考える姿勢 育てよう

坂井・雄島小 教員向け新聞活用研修



NIE実践指定校の坂井市雄島小で8月29日、新聞の活用法を学ぶ教員向け研修が行われた。講師

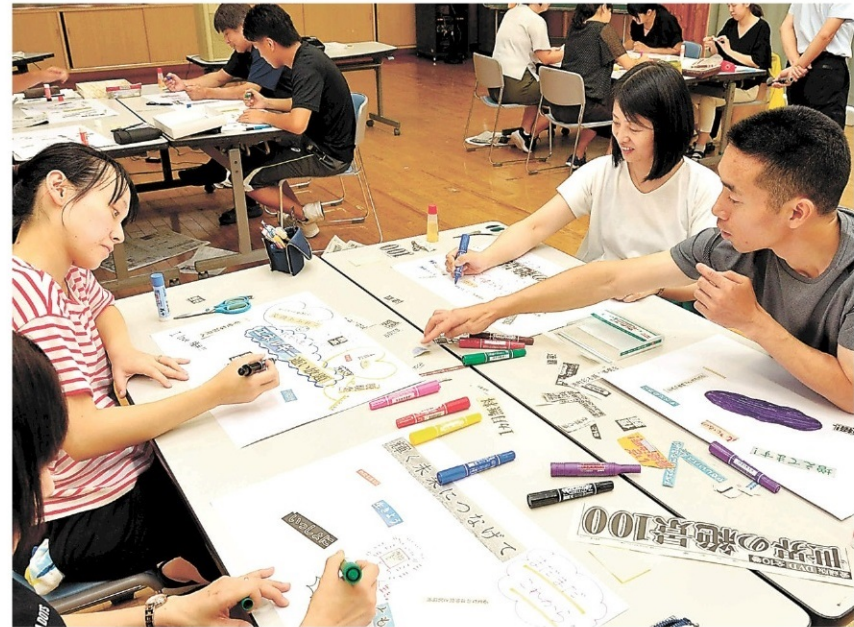
の徳島泰彦・福井新聞社NIEコーディネーターは、社会とつながる学びが求められている現状に触れ、NIEに取り組む意義について「結論を導くための根拠を思考する姿勢が生まれる」と強調した。

大坂富美雄校長をはじめ教員16人が参加した。徳島コーディネ

ーターはNIEは調べたり、話し合ったりする楽しさがあり、コミュニケーションやプレゼン能力が高まると説明。新聞を読み、書き写す活動などNIEを日常化することで「確実に学力が伸びる」と話した。

ワークショップでは、気になる記事の見出しを切り抜き、それを組み合わせてストーリーをつくり画用紙にレイアウトする「ことばの貯金箱」に挑戦した。グループの他のメンバーが選んだ言葉も使うことができるルールで、「老後の自分」「私の大きな夢」「輝く未来」といったテーマで工夫を凝らした作品を完成させた。

語彙力を高める実践で、参加し



NIEのワークショップ「ことばの貯金箱」に取り組む教員たち 8月29日、坂井市の雄島小

た教員は「自分が選んだ言葉を他の仲間が使うとイメージが変わるなど発見があった」「レイアウトも個性を発揮できる。中学年でも楽しめる実践で、児童同士のコミ

ュニケーションを深めることができる」と話していた。

新聞活用研修の問い合わせは、福井新聞社みんなの新聞部＝☎0776(57)5122。(山口晶永)